

IMASEN REPORT 15

第79期報告書

2015.4.1-2016.3.31

株式会社今仙電機製作所

〒484-8507 愛知県犬山市宇柿畑1番地
TEL (0568) 67-1211 (代表)

株主の皆様へ

平素より格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

第79期の業績について、ご報告させていただきます。



経営理念

想像力を豊かにし、これまでに存在しない全く新しい製品・サービスを創造し、これをより安く、より速く、世の中に提供することで、人々の豊かな暮らしに貢献いたします。

第79期 ポイント

- 1 北米での自動車部品の生産が増加したことなどにより、売上高は前期比7.2%の増収となりました
- 2 中国、アジアでの減産などにより、営業利益は前期比2.9%の減益となりました
- 3 経常利益の変動により、当期純利益*は前期比4.7%の減益となりました

財務ハイライト 第79期 (2016年3月期)

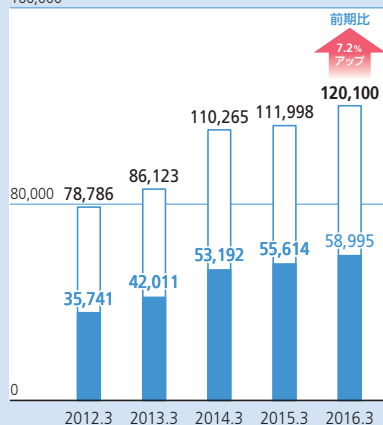
詳細な財務情報は、当社のIRウェブサイトをご覧ください。

www.imasen.co.jp

■ 第2四半期 □ 通期

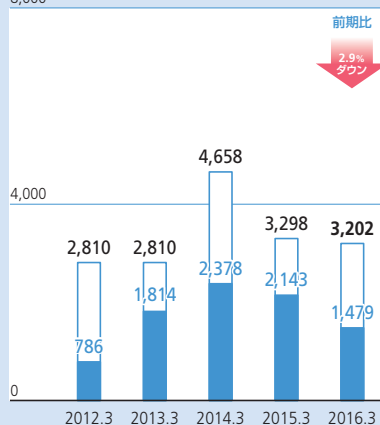
売上高

(百万円)



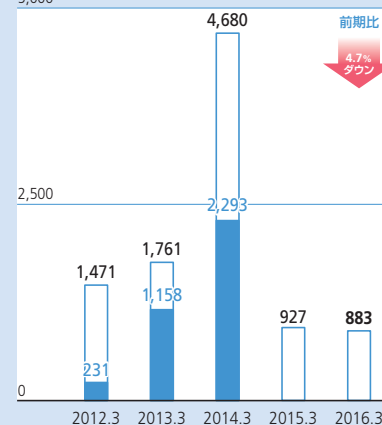
営業利益

(百万円)



当期(四半期)純利益*

(百万円)



*親会社株主に帰属する当期(四半期)純利益

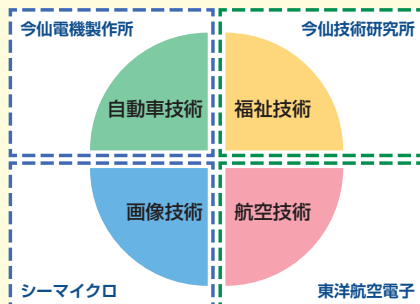
特集企画「IMASENを知る」第16弾

【将来の展開に向けたIMASENの技術開発の取り組み】

今回は2015年に設立したIMASENグローバル開発・研修センター（愛知県犬山市）で取り組んでいる最新事例を紹介いたします。



【IMASENグローバル開発・研修センター】



開発センター設立の狙い

- ・将来の主軸となる新事業創出に向けた開発体制を構築するため、既存事業から完全に切り離れた開発体制で展開。
- ・IMASENグループのコア技術を結集した開発体制により、新しい価値の創出とIMASENブランドの構築を狙う。

■自動車分野

【安全運転支援システム】

安全運転支援システムは、IMASENグループの所有する画像処理技術を活用したシステムです。車体の前後と、左右のミラーに設置したカメラが捉えた画像を処理し、3Dビューで走行中の自車の周囲の情報を映し出す機能で、これからの自動運転分野における活用が期待されています。

今後もIMASENは将来の自動運転技術・安全運転に求められる開発・提案を行ってまいります。



【走行中の車内モニターに映し出される映像】

■非自動車分野

【今仙技術研究所とミズノの共同開発】

～スパイクソール・フットカバー～

IMASENグループの福祉機器を手がける今仙技術研究所は、大手総合スポーツメーカーのミズノと共同で国産初の義足用スパイクとフットカバーを開発いたしました。2016年のリオデジャネイロ、2020年の東京でのパラリンピックの選手の活躍にも貢献してまいります。

引き続き、開発センターでは様々な企業と当社技術を活用した新製品の開発を推進してまいります。



トピックス

【執行役員制度及び事業部制導入について】

当社は、取締役会の機動性向上、監督機能の強化と業務遂行の迅速化、執行責任の明確化を目的として執行役員制度及び事業部制を導入することといたしました。

6月22日の株主総会以降、5つの事業部によって、事業を軸としたマネジメント体制の強化を図ってまいります。

連結財務諸表

連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	前期末 (2015年3月31日)	当期末 (2016年3月31日)
資産の部		
流動資産	56,409	52,553
固定資産	37,154	33,758
資産合計	93,564	86,311
負債の部		
流動負債	31,767	28,981
固定負債	14,351	11,449
負債合計	46,119	40,430
純資産の部		
株主資本	41,474	41,764
その他の包括利益累計額	5,545	3,698
非支配株主持分	425	417
純資産合計	47,445	45,881
負債純資産合計	93,564	86,311

連結損益計算書

(単位：百万円)

科目	前期 (2014年4月1日～ 2015年3月31日)	当期 (2015年4月1日～ 2016年3月31日)
売上高	111,998	120,100
売上原価	98,876	106,524
売上総利益	13,121	13,576
販売費及び一般管理費	9,823	10,373
営業利益	3,298	3,202
営業外収益	1,205	492
営業外費用	479	946
経常利益	4,024	2,747
特別利益	2	27
特別損失	1,397	82
税金等調整前当期純利益	2,629	2,693
法人税、住民税及び事業税	1,416	1,909
法人税等調整額	205	△157
当期純利益	1,008	940
非支配株主に帰属する当期純利益	81	57
親会社株主に帰属する当期純利益	927	883

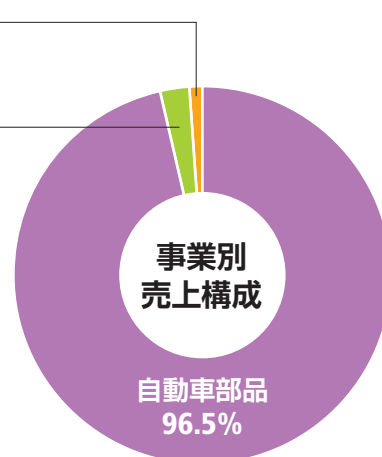
連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科目	前期 (2014年4月1日～ 2015年3月31日)	当期 (2015年4月1日～ 2016年3月31日)
営業活動による キャッシュ・フロー	7,113	7,569
投資活動による キャッシュ・フロー	△4,460	△4,139
財務活動による キャッシュ・フロー	△592	△4,849
現金及び現金同等物に係る 換算差額	955	78
現金及び現金同等物の 増減額 (△は減少)	3,014	△1,341
現金及び現金同等物の 期首残高	10,458	13,473
現金及び現金同等物の 期末残高	13,473	12,131

福祉機器
0.9%

ワイヤーハーネス
2.6%



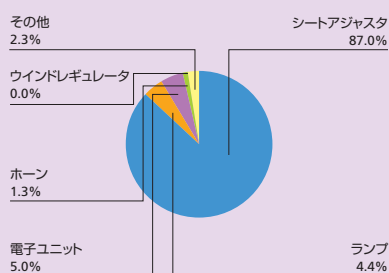
自動車部品関連事業

売上高 115,907百万円
(前期比 7.9%増)

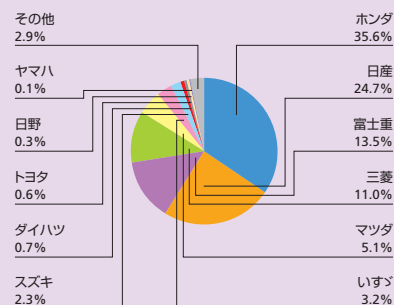
営業利益 3,205百万円
(前期比 2.4%増)

北米での生産増により増収、
増益となりました。

製品別売上高構成



販売先系列別売上高構成



会社概要 (2016年3月31日現在)

社名	株式会社今仙電機製作所 Imasen Electric Industrial Co.,Ltd.
設立	1939年2月1日
資本金	6,134百万円
主な事業内容	自動車用機構製品及び電装製品の製造・販売
従業員数	5,124名(連結)
本社所在地	愛知県犬山市字柿畑1番地
営業所及び開発拠点	東京支店/栃木テクニカルセンター 広島テクニカルセンター/水島連絡所 IMASENグローバル開発・研修センター/ドイツ支店
工場	名古屋工場/岐阜工場/八百津工場 春里工場/可児工場/岡山工場/広島工場 (株式会社九州イマセン)
海外拠点	台湾/フィリピン/米国/中国/タイ/インド メキシコ/インドネシア

役員 (2016年6月22日現在)

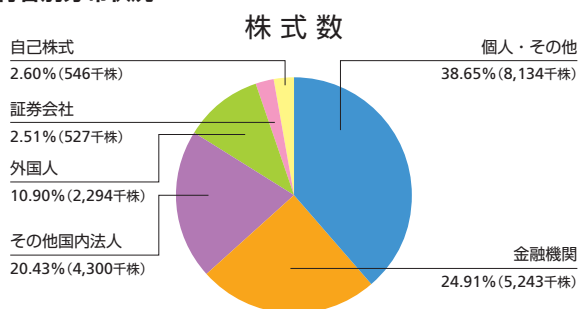
代表取締役会長	若山 恭二
代表取締役社長執行役員	藤掛 治
取締役専務執行役員	亀山 弘昌
取締役専務執行役員	中澤 哲則
取締役専務執行役員	足立 隆
社外取締役	永井 康雄
社外取締役	鈴木 雄二
常勤監査役	真下 英敏
監査役	阿部 隆行
社外監査役	宮澤 俊夫
社外監査役	長谷川 周義

株式情報 (2016年3月31日現在)

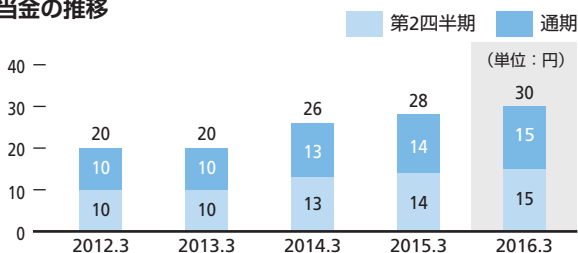
株式の状況

発行可能株式総数	49,195,000株
発行済株式の総数	21,046,785株
株主数	7,335名

所有者別分布状況



配当金の推移



株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日	定時株主総会・期末配当: 毎年3月31日 中間配当: 毎年9月30日
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社

大株主 (上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
本田技研工業株式会社	1,066	5.20
I M A S E N 取引先持株会	821	4.00
ヤマハ発動機株式会社	613	2.99
株式会社三菱東京UFJ銀行	605	2.95
今仙電機従業員持株会	564	2.75
株式会社第三銀行	505	2.46
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	451	2.20
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	374	1.82
三井住友信託銀行株式会社	374	1.82
カセイスバンクルクセンブルグクライアントアカウント	370	1.80

※ 1. 当社は、自己株式を546千株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。
2. 持株比率は自己株式(546千株)を控除して計算しております。

当社ホームページのご案内



様々な情報をホームページで
ご覧になれます。

www.imasen.co.jp

同事務取扱場所	愛知県名古屋市中区栄三丁目15番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話照会先	0120-782-031 (フリーダイヤル)
同取次窓口	三井住友信託銀行株式会社 本店及び全国各支店
単元株式数	100株
証券コード	7266 (東京・名古屋証券取引所市場第一部)